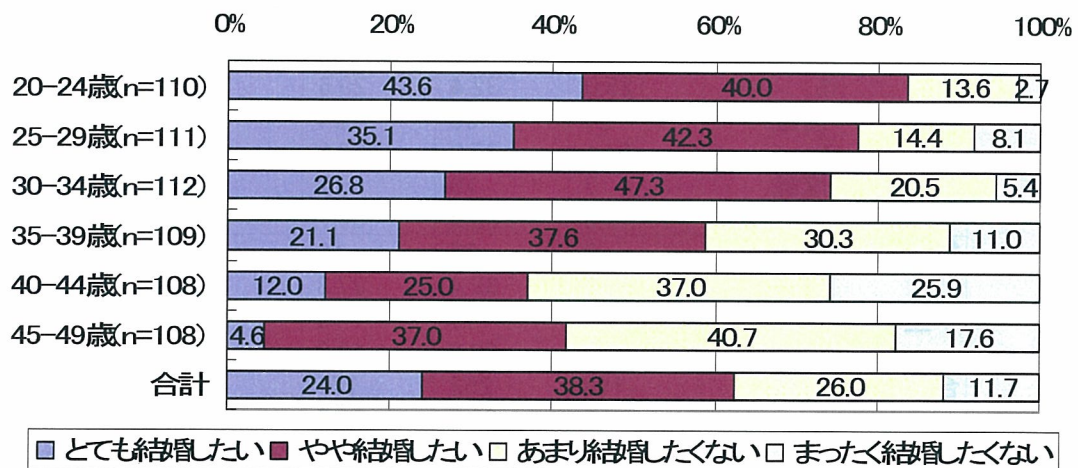


男性 $X^2(15)=26.91, P=0.030$

女性



女性 $X^2(15)=118.35, P=0.000$

表 11-1-1 結婚意欲(性別、就業状態別)

			とても結 婚したい	やや結婚 したい	あまり結 婚したくない	まったく結 婚したくない	合計
男	正規の職 員	度数	94	156	51	35	336
		%	28.0	46.4	15.2	10.4	100.0
	パート・ア ルバイト	度数	10	24	18	17	69
		%	14.5	34.8	26.1	24.6	100.0
	派遣・嘱 託	度数	11	7	6	7	31
		%	35.5	22.6	19.4	22.6	100.0
	自営業 主・家族	度数	25	46	16	8	95
		%	26.3	48.4	16.8	8.4	100.0
無職・家 事	度数	9	24	11	12	56	
	%	16.1	42.9	19.6	21.4	100.0	
学生	度数	33	32	6	5	76	
	%	43.4	42.1	7.9	6.6	100.0	
合計		度数	182	289	108	84	663
		%	27.5	43.6	16.3	12.7	100.0
女	正規の職 員	度数	74	120	71	33	298
		%	24.8	40.3	23.8	11.1	100.0
	パート・ア ルバイト	度数	27	35	32	14	108
		%	25.0	32.4	29.6	13.0	100.0
	派遣・嘱 託	度数	21	33	24	9	87
		%	24.1	37.9	27.6	10.3	100.0
	自営業 主・家族	度数	7	19	17	6	49
		%	14.3	38.8	34.7	12.2	100.0
無職・家 事	度数	9	26	18	13	66	
	%	13.6	39.4	27.3	19.7	100.0	
学生	度数	20	19	9	2	50	
	%	40.0	38.0	18.0	4.0	100.0	
合計		度数	158	252	171	77	658
		%	24.0	38.3	26.0	11.7	100.0

男性 $X^2(15)=46.98, P=0.000$

女性 $X^2(15)=22.06, P=0.106$

続いて、就業状態別に結婚意欲を見ると、男性については有意な差が見られ、正規の職員と自営業で結婚したいという回答割合が高かった。女性については、就業状態別に優位な差は無かった（表 11-1-1）。

また理想の子どもの数別に結婚意欲を見てみると、優位な差があり、理想の子どもの数が0の人は、結婚したいという回答（「とても結婚したい」4.2%、「やや結婚したい」16.7%）と回答した割合が少ない（表 11-1-2）。

表 11-1-2 結婚意欲（理想の子どもの数別）

			とても結婚したい	やや結婚したい	あまり結婚したくない	まったく結婚したくない	合計
あなたの理想の子どもの数は何人ですか	0	度数	7	28	57	76	168
		%	4.2	16.7	33.9	45.2	100.0
	1	度数	13	33	38	5	89
		%	14.6	37.1	42.7	5.6	100.0
	2	度数	192	326	121	48	687
		%	27.9	47.5	17.6	7.0	100.0
	3	度数	108	143	55	29	335
		%	32.2	42.7	16.4	8.7	100.0
	4	度数	14	7	7	1	29
		%	48.3	24.1	24.1	3.4	100.0
5	度数	4	4	1	1	10	
	%	40.0	40.0	10.0	10.0	100.0	
6	度数	1			1	2	
	%	50.0			50.0	100.0	
10	度数	1				1	
	%	100.0				100.0	
合計	度数	340	541	279	161	1,321	
	%	25.7	41.0	21.1	12.2	100.0	

$$X^2(21) = 303.90, P = 0.000$$

11-2. 結婚のメリット

続いて、結婚の利点としてどのくらい重要か、(1)経済的な余裕、(2)社会的信用、(3)子どもを持つこと、(4)精神的な安らぎ、(5)家事の合理化、(6)性的な相手の確保、(7)経済的リスク（失業や減給）への保障についてそれぞれたずねた。

最も多くの人々が重要と回答したのは（「非常に重要」と「やや重要」を足したものの）、精神的な安らぎであって、「非常に重要」と回答した人が48.8%、「やや重要」と回答した人が40.5%おり、約9割の人が結婚の利点として考えていた。

続いて多かったのが、経済的な余裕、経済的なリスクへの保障であった。

これらについての性別の違いを見ると、ほとんどすべての事柄について、男女の間で有意な差が認められた（カイ二乗による。「(4)精神的な安らぎについては」5%水準で、それ以外は1%水準で有意な差があった）が、唯一、「(5)家事の合理化」については男女の有意な差がなかった。

男性のほうが女性よりも多くの人々が重要と回答したのは（「非常に重要」と「やや重要」を足したものの）、(3)子どもを持つことと(6)性的な相手の確保についてであった。

反対に女性のほうが男性よりも多くの人々が重要と回答したのは、(1)経済的な余裕、(2)社会的信用、(4)精神的な安らぎ、(7)経済的リスク（失業や減給）へ

の保障であった。

図 11-2-1 結婚の利点 (n=1321)

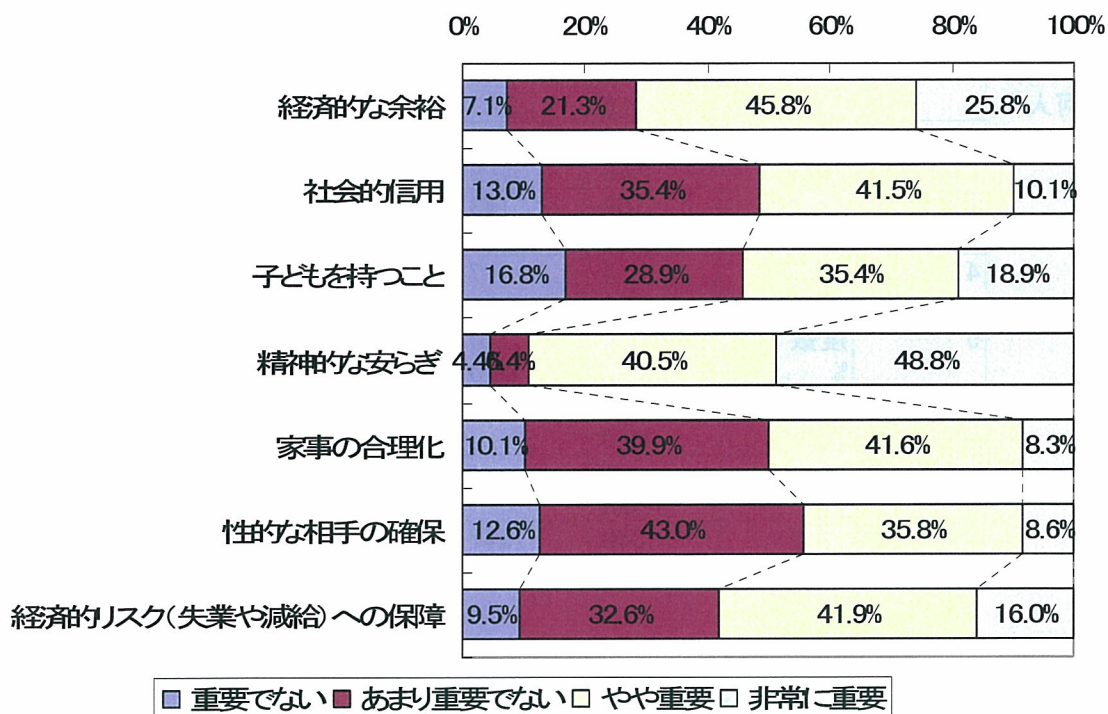
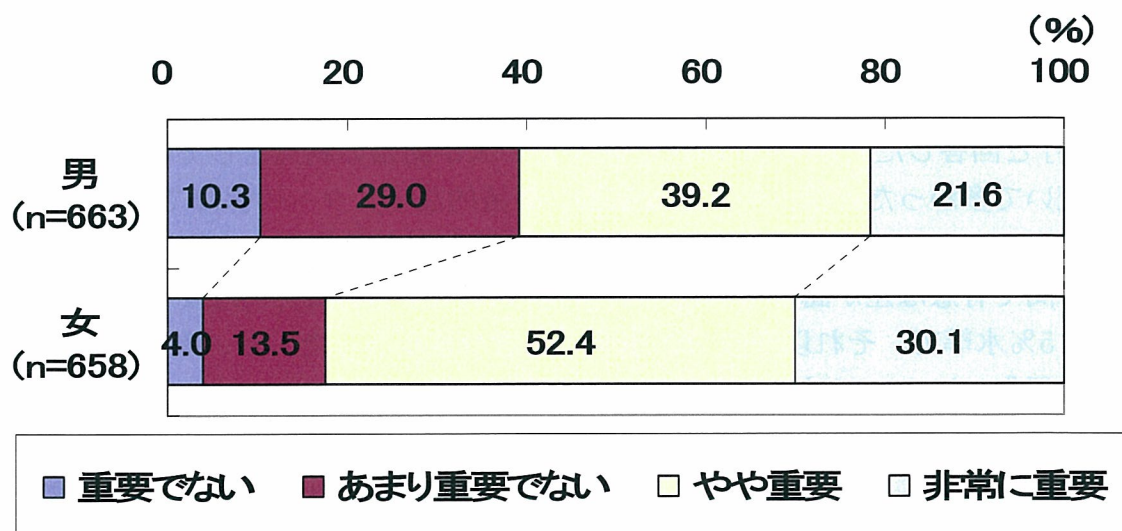


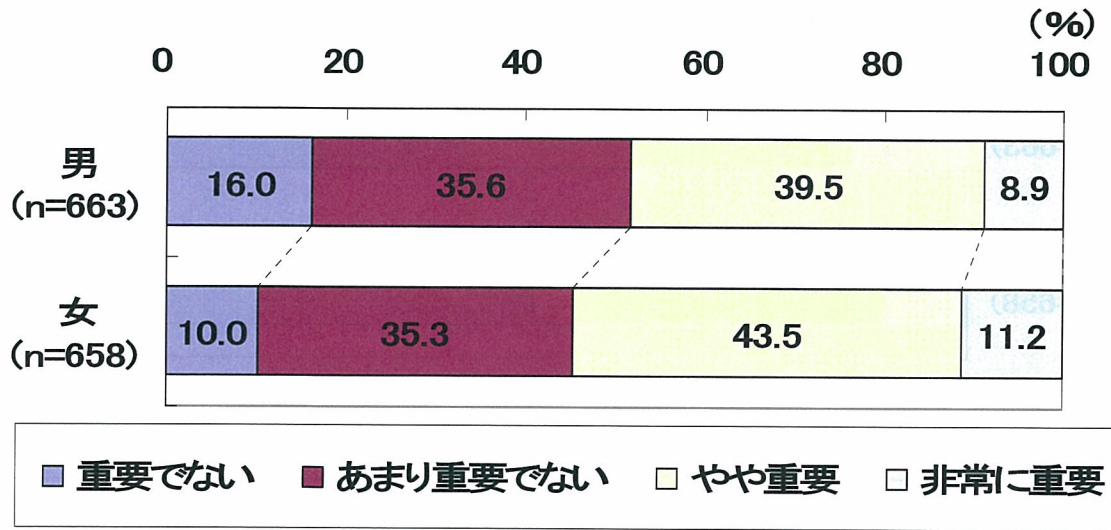
図 11-2-2 結婚の利点 (男女別)

(1) 経済的な余裕



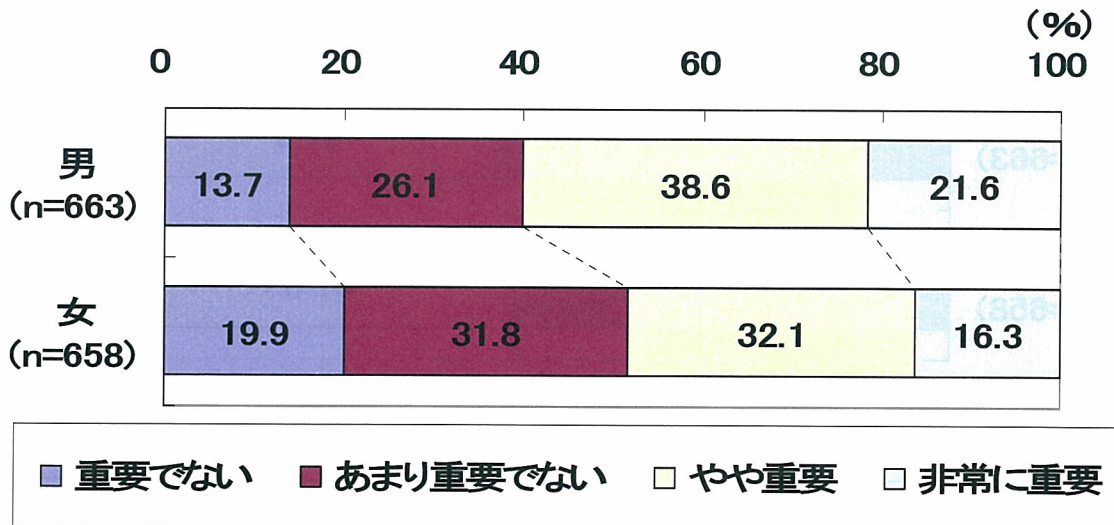
$X^2(3) = 77.32, P = 0.000$

(2)社会的信用



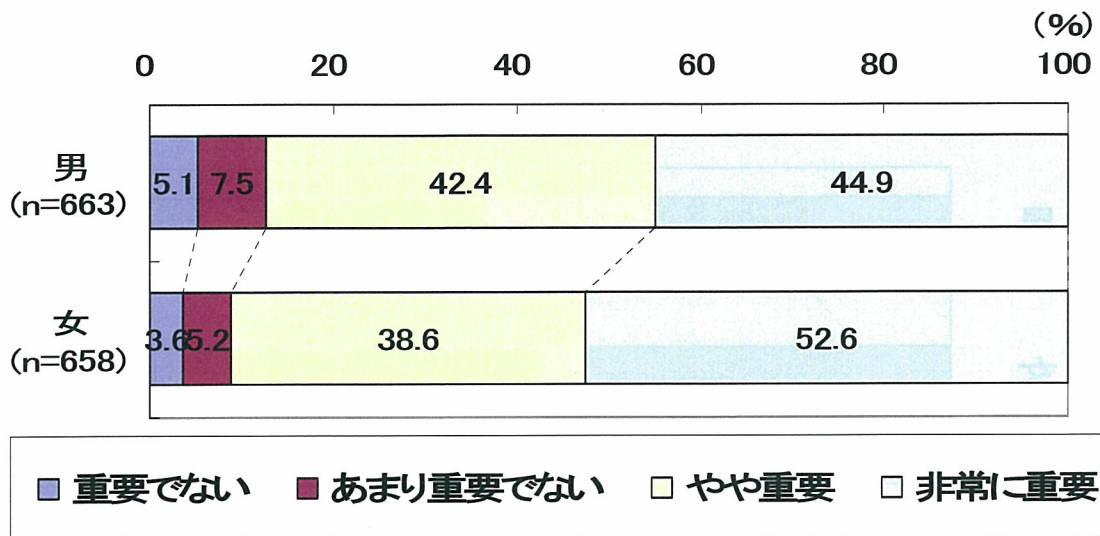
$X^2(3) = 12.06, P = 0.007$

(3)子どもを持つこと



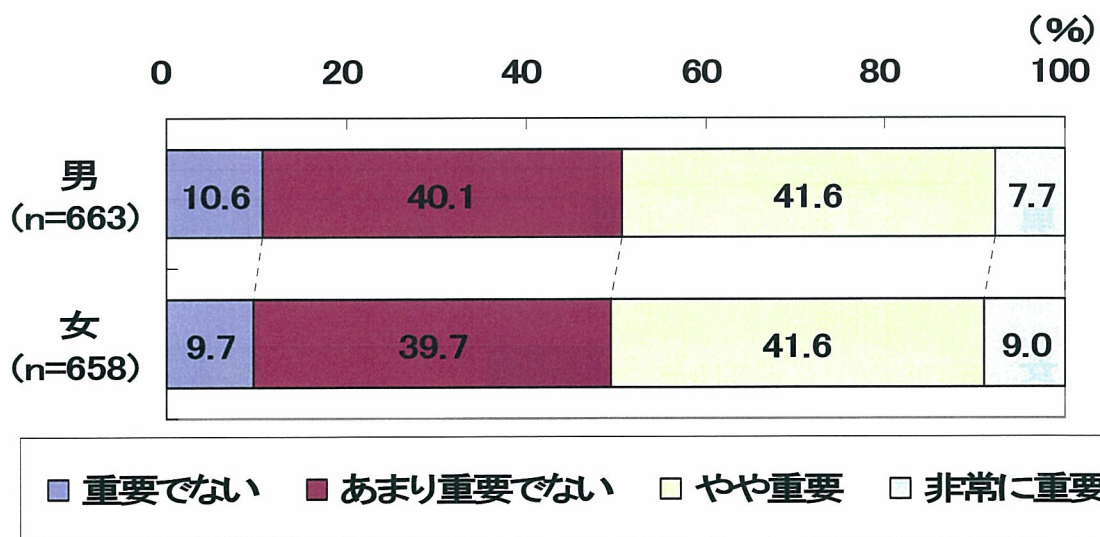
$X^2(3) = 20.10, P = 0.000$

(4)精神的な安らぎ



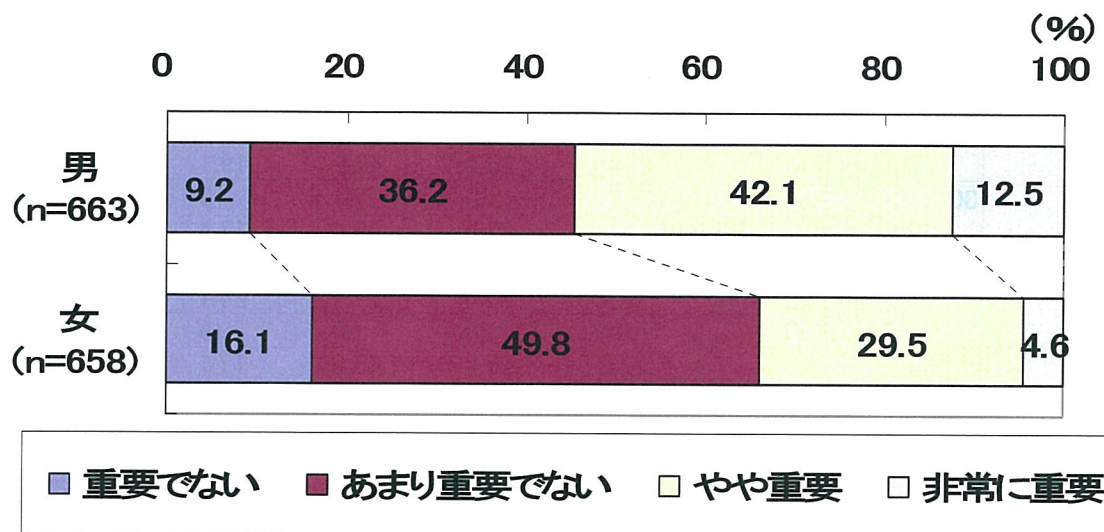
$X^2(3) = 9.69, P = 0.021$

(5) 家事の合理化



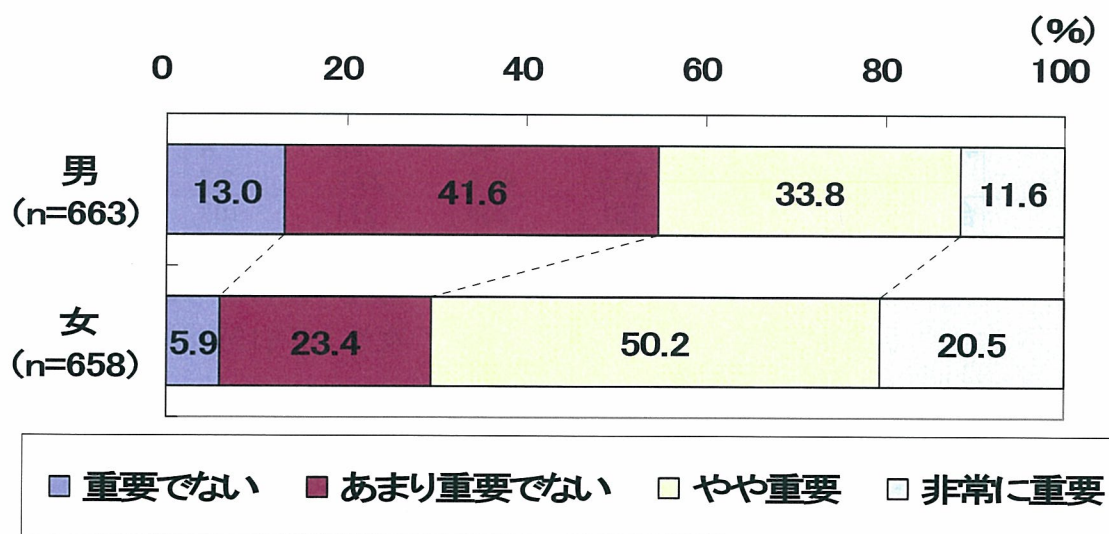
$X^2(3) = .886, P = 0.829$

(6) 性的な相手の確保



$X^2(3) = 65.88, P = 0.000$

(7) 経済的リスク (失業や減給)



$X^2(3) = 88.42, P = 0.000$

表 11-2-1 子どもを持つこと (性別、年齢別)

		重要でない	あまり重要でない	やや重要	非常に重要	合計
男	20-24歳	度数 7	25	46	32	110
		% 6.4	22.7	41.8	29.1	100.0
	25-29歳	度数 15	29	45	21	110
		% 13.6	26.4	40.9	19.1	100.0
	30-34歳	度数 16	30	44	19	109
		% 14.7	27.5	40.4	17.4	100.0
	35-39歳	度数 15	28	42	27	112
	% 13.4	25.0	37.5	24.1	100.0	
40-44歳	度数 14	28	50	19	111	
	% 12.6	25.2	45.0	17.1	100.0	
45-49歳	度数 24	33	29	25	111	
	% 21.6	29.7	26.1	22.5	100.0	
合計	度数 91	173	256	143	663	
	% 13.7	26.1	38.6	21.6	100.0	
女	20-24歳	度数 12	23	45	30	110
		% 10.9	20.9	40.9	27.3	100.0
	25-29歳	度数 14	23	47	27	111
		% 12.6	20.7	42.3	24.3	100.0
	30-34歳	度数 14	34	40	24	112
		% 12.5	30.4	35.7	21.4	100.0
	35-39歳	度数 28	36	29	16	109
	% 25.7	33.0	26.6	14.7	100.0	
40-44歳	度数 29	47	26	6	108	
	% 26.9	43.5	24.1	5.6	100.0	
45-49歳	度数 34	46	24	4	108	
	% 31.5	42.6	22.2	3.7	100.0	
合計	度数 131	209	211	107	658	
	% 19.9	31.8	32.1	16.3	100.0	

男性 $X^2(15)=22.48, P=0.096$

女性 $X^2(15)=85.35, P=0.000$

また (5) 子どもを持つことについて、男女別に年齢別の差があるかどうか見たところ(表 11-2-1)、男性については年齢による統計上の有意な差は無かったが、女性については有意な差があり、年齢が高くなるにしたがって、重要と回答する人の割合が低下する傾向にある。

資料：調査票（調査画面）及び単純集計 結果

子どもに対する価値観と育児に関する調査

調査の目的

この調査は、人々が子育てや子どものことをどのように感じているかを知るために行います。これから「あなたが子どものことをどのように感じているか」「あなたの人生において子どもが果たす役割はどのようなものであると考えているか」を中心として質問をさせていただきます。なにとぞご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

いただきました回答は、統計的に処理し集計されます。個人が特定されたり個人のお名前が出るようなことは絶対にありません。また、集計された調査データは、下記研究事業他、学術研究以外の目的では利用いたしません。

本調査の目的をご理解の上、それぞれの質問に可能な限り正直にご回答いただけますようお願いいたします。

なおこの調査は、厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「男性の子どもの価値観と出産・育児に関する研究」（主任研究者 辻明子）の一環として、厚生労働省の研究助成を受けて実施するものです。

ご記入にあたって

1. 必ずご本人がお答えください。
2. 回答は、特にことわりのないかぎり、もっともよくあてはまるものを1つ選んでください。
3. 質問番号順にお答えください。矢印（→）では指示に従って進んでください。

調査実施主体：

総合研究開発機構 主任研究員 辻 明子
清泉女学院大学 講師 高崎文字

調査委託先：

株式会社 サーベイリサーチセンター



※問い合わせ先は「NTTナビスペースになります」

数字は%、特に断り書きのない場合
n=3922

Q1 性別についてお答え下さい（回答はひとつ）

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 50.3 |
| 2. 女 | 49.7 |

Q2 現在の年齢についてお答え下さい

34.8 歳

Q3 最終学歴についてお答え下さい(在学中、中退は卒業に含みます)（回答はひとつ）

- | | |
|-------------|------|
| 1. 中学校卒 | 1.6 |
| 2. 高校卒 | 27.5 |
| 3. 専修・専門学校卒 | 14.1 |
| 4. 短大・高専卒 | 13.1 |
| 5. 大学・大学院卒 | 43.7 |

Q4 あなたが現在お住まいの都道府県をお答え下さい

都道府県

Q5 あなたの就業状態は次のどれにあてはまりますか（回答はひとつ）

- | | | |
|------------------|------|--------------------|
| 1. 正規の職員 | 49.0 | } Q5_SQ1~5 をお答え下さい |
| 2. パート・アルバイト | 11.8 | |
| 3. 派遣・嘱託 | 5.7 | |
| 4. 自営業主・家族従業者・内職 | 8.8 | |
| 5. 無職・家事 | 21.1 | |
| 6. 学生 | 3.6 | |

Q5_SQ1 あなたの職種は次のうちどれにあてはまりますか（回答はひとつ）

(n=2954)

- | | |
|---------------|------|
| 1. 主として農林漁業 | 0.4 |
| 2. 農林漁業以外の自営業 | 2.0 |
| 3. 専門職 | 25.9 |
| 4. 管理職 | 5.9 |

5. 事務職	27.7
6. 販売・サービス業	22.9
7. 工場などの現場労働	6.8
8. その他	8.4

Q5_SQ2 あなたの勤め先の従業員数はつぎのうちどれにあてはまりますか（本社・支店を含む）（回答はひとつ）

(n=2954)

1. 1～29 人	32.1
2. 30～99 人	14.9
3. 100～499 人	18.0
4. 500～999 人	5.8
5. 1000 人以上	19.8
6. 官公庁	4.7
7. わからない	4.9

Q5_SQ3 あなたの週平均の労働時間は何時間ですか (n=2954)

37.4 時間

Q5_SQ4 現在の勤務先での勤続年数は何年ぐらいですか

(回答はひとつ) (n=2954)

1. 1 年未満	15.6
2. 1～3 年未満	19.3
3. 3～5 年未満	15.1
4. 5～10 年未満	20.6
5. 10～15 年未満	12.5
6. 15～20 年未満	8.4
7. 20 年以上	8.5

Q5_SQ5 あなた個人の昨年の年収はどれぐらいですか (n=2954)

1. <u>418.9</u> 万円台 (n=2338)	79.1
2. わからない	20.9

Q6 あなたは何人きょうだいですか。あなたを含めてお答え下さい（回答はひとつ）

1. 1人（ひとりっ子）	9.3
2. 2人	54.4
3. 3人	30.3
4. 4人	4.6
5. 5人	1.0
6. 6人以上	0.4

Q7 現在のあなたの同居している家族の構成は次のうちどれにあてはまりますか（回答はひとつ）

1. 本人のみ	11.1
2. 本人と親もしくはきょうだい、祖父母	20.7
3. 本人と配偶者	30.2
4. 本人と子	1.2
5. 本人と配偶者と子	26.4
6. 本人と配偶者と親	3.3
7. 本人と配偶者と子と親	4.8
8. その他	2.2

Q8 あなたの世帯全体の昨年の年収はどれぐらいですか

1. <u>666.8</u> 万円ぐらい（n=2640）	67.3
2. わからない	32.7

Q9 あなたの婚姻状態は次のうちどれにあてはまりますか（回答はひとつ）

1. 未婚→Q9_SQ5～8をお答え下さい	30.1
2. 既婚→Q9_SQ1～4をお答え下さい	66.3
3. 離別→Q9_SQ5～8をお答え下さい	3.4
4. 死別→Q9_SQ5～8をお答え下さい	0.2

【既婚の方にお伺いします】

Q9_SQ1 あなた方の婚姻期間についてお答え下さい (n=2601)

8.0年

Q9_SQ2 あなたの配偶者の現在の年齢についてお答え下さい (n=2601)

35.7歳

Q9_SQ3 あなたの配偶者の最終学歴についてお答え下さい(在学中、中退は卒業に含みます) (回答はひとつ) (n=2601)

1. 中学校卒	2.4
2. 高校卒	30.4
3. 専修・専門学校卒	12.6
4. 短大・高専卒	14.4
5. 大学・大学院卒	39.4
6. 知らない	0.8

Q9_SQ4 あなたの配偶者の就業状態は次のどれにあてはまりますか (回答はひとつ) (n=2601)

1. 正規の職員	52.6	} SQ(9)-4-1~2 をお答え下さい
2. パート・アルバイト	11.7	
3. 派遣・嘱託	3.9	
4. 自営業主・家族従業者・内職	8.7	
5. 無職・家事	22.8	
6. 学生	0.4	

Q9_SQ4-1 あなたの配偶者の週平均の労働時間は何時間ですか (n=1998)

1. 40.3時間 (n=1445) 72.3
2. わからない 27.7

Q9_SQ4-2 あなたの配偶者の現在の勤務先での勤続年数は何年ぐらいですか (回答はひとつ) (n=1998)

1. 1年未満 14.0
2. 1~3年未満 19.4
3. 3~5年未満 14.0
4. 5~10年未満 18.4

5. 10～15年未満	12.7
6. 15～20年未満	9.9
7. 20年以上	11.6

【未婚、離別、死別の方にお伺いします】

Q9_SQ5 あなたは将来結婚をしたいと思いますか（回答はひとつ）（n=1321）

1. とても結婚したい	25.7
2. やや結婚したい	41.0
3. あまり結婚したくない	21.1
4. まったく結婚したくない	12.2

Q9_SQ6 あなたにとって、結婚の利点として以下のことはどれぐらい重要ですか。（回答はそれぞれひとつずつ）

(n=1321)

	1 重要で ない	2 あまり 重要で ない	3 やや重 要	4 非常に 重要
(1) 経済的な余裕	7.1	21.3	45.8	25.8
(2) 社会的信用	13.0	35.4	41.5	10.1
(3) 子どもを持つこと	16.8	28.9	35.4	18.9
(4) 精神的な安らぎ	4.4	6.4	40.5	48.8
(5) 家事の合理化	10.1	39.9	41.6	8.3
(6) 性的な相手の確保	12.6	43.0	35.8	8.6
(7) 経済的リスク（失業や減給）への保障	9.5	32.6	41.9	16.0

【全員にお伺いします】

Q10 あなたには子どもがいますか

1. いる 34.8

→ Q10_SQ1 子どもの人数は何人ですか (n=1364)
1.66人

Q10_SQ2 一番下の子どもの年齢は何歳ですか (n=1364)
5.92歳

Q10_SQ3 あなたのご家庭では、昨年1年間に子どもの教育費（習い事も含む）にどれぐらいかかりましたか。
(n=1364)

1. <u>46.33</u> 万円 (n=708)	51.9
2. わからない	48.1

2. いない 65.2

Q11 あなたの理想の子どもの数は何人ですか
2.15人

Q12 あなたが実際に持つと思う子どもの数は何人ですか
1.42人

Q13 今後ほしいと思う子どもの数は何人ですか
1.11人

【今後1人以上子どもが欲しい方にお伺いします】

Q14 あなたは、子育てをするつもりがありますか（回答はひとつ）
(n=2451)

1. はい 97.1

→Q14_SQ1 あなたは子育ての何割ぐらいを分担したいと思いますか。
(n=2379)

52.1%ぐらい

2. いいえ 2.9

→Q14_SQ2 あなた以外のどなたが子育てを行うと思いますか。最もあてはまるもの1つを選んでください（回答はひとつ）(n=72)

1. 配偶者	62.5
2. 自分の親	22.2
3. 配偶者の親	4.2
4. その他	11.1

Q14_SQ3 なぜあなたは子育てを行おうと思わないのでしょうか。最もあてはまるもの1つを選んでください（回答はひとつ）
(n=72)

1. 子育てに興味がないから	8.3
2. 他のこと(仕事など)に専念したいから	27.8
3. 仕事上の昇進や昇格に影響があると困るから	1.4
4. 他の人(例えば配偶者)の仕事だと思うから	0.0
5. 自分は向いていないから	37.5
6. 子育てをする慣習がないから	2.8
7. その他	22.2

Q15 あなたは自分が何歳までに最後の子どもを持ちたいですか (n=2451)
37.7 歳

Q16 あなたには現在子どもを持つためのパートナーがいますか
(回答はひとつ) (n=2451)

1. いる 71.7

→Q16_SQ1

そのパートナーと子どもを作ることを目的として(避妊具を用いずに)、過去1年間にどのぐらいの頻度で性交渉を行いましたか(回答はひとつ) (n=1757)

- | | |
|------------------|------|
| 1. 行った(____回ぐらい) | 32.6 |
| 2. 1年以上性交渉はない | 15.1 |
| 3. 答えたくない | 52.3 |

2. いない 28.3

【全員にお伺いします】

Q17 あなたが子どもを持つ理由として、以下のことはどれぐらいあてはまりますか（回答はそれぞれひとつずつ）

	1 全くあ てはま らない	2 あまり あては まらな い	3 まああ てはま る	4 非常に あては まる
(1) 子どもを育ててみたい	11.7	16.5	47.5	24.4
(2) 子どもが好き	9.9	22.9	44.1	23.1
(3) 配偶者の子どもが欲しい	10.6	21.2	44.4	23.8
(4) 女性として妊娠出産を経験したい ／してほしい	21.1	24.9	26.7	17.3
(5) 血のつながった存在が欲しい	12.3	22.5	42.4	22.8
(6) 子孫を残したい	15.9	27.8	37.8	18.5
(7) 子育ては生き甲斐になる	12.3	27.5	43.3	16.9
(8) 子育てをすることで自分が成長する	7.7	14.3	51.7	26.3
(9) 子どもがいると生活に変化が生まれる	6.3	10.1	51.6	31.9
(10) 子どもがいると家庭がにぎやかになる	6.6	9.1	49.4	34.9
(11) 子どもを持つことで夫婦の絆が強まる	8.9	20.0	48.9	22.2
(12) 子を産み育ててこそ一人前	21.3	35.2	30.9	12.6
(13) 結婚して子どもを持つのは自然なこと	13.2	24.1	46.1	16.6
(14) 次の世代を作るのは、人としてのつとめ	21.0	36.9	32.5	9.7

	1 全くあ てはま らない	2 あまり あては まらない い	3 まああ てはま る	4 非常に あては まる
(15) 子どもは将来の社会の支えとなる	12.0	23.5	48.9	15.6
(16) 姓やお墓を継ぐ者が必要	33.3	40.4	21.6	4.8
(17) 子どもがいると老後の経済的な支えになる	27.1	45.6	23.9	3.4
(18) 年を取った時子どもがいないと寂しい	14.3	24.5	45.5	15.7
(19) 年を取った時子どもがいると安心	14.9	28.7	45.0	11.4

Q18 あなたは、以下のことがらをどの程度重視していますか（回答はそれぞれひとつずつ）

	1 まったく 重視して いない	2 あまり重 視してい ない	3 やや重視 している	4 大変重視 している
(1) 仕事上の成功	4.9	33.9	48.2	13.0
(2) 経済的な豊かさを得ること	1.5	14.9	61.1	22.5
(3) 趣味や個人的な活動の充実	1.1	9.4	55.4	34.1
(4) 地域・社会に貢献すること	8.0	47.4	39.3	5.4
(5) 家庭生活・家族の絆を深めること	2.3	13.0	49.9	34.8